

大隅地域感染症情報

2019年第36週報（9月2日～9月8日）
発行：大隅地域振興局保健福祉環境部

○全数把握疾患の報告数

	鹿屋保健所管内	志布志保健所管内
一類感染症	該当なし	該当なし
二類感染症	該当なし	該当なし
三類感染症	該当なし	該当なし
四類感染症	該当なし	該当なし
五類感染症	カルバペナム耐性腸内細菌科細菌感染症：1件	該当なし

※速報値であり、後日修正になる可能性があります。

○定点把握疾患の報告数

・志布志保健所管内のRSウイルス感染症が増加傾向です。

疾病	警報レベル 開始/終息 基準値	注意報 基準値	鹿屋保健所管内推移				志布志保健所管内推移				大隅全体	県全体
			33週	34週	35週	36週	33週	34週	35週	36週	36週	35週
インフルエンザ	30.00/10.00	10.00	0.00	0.00	0.00	0.13	0.00	0.80	0.00	0.20	0.15	0.24
RSウイルス感染症	-	-	2.20	0.80	1.00	0.20	0.67	0.33	3.33	8.67	3.38	4.11
咽頭結膜熱	3.00/1.00	-	0.60	0.40	0.80	0.20	0.00	0.67	0.33	1.00	0.50	0.85
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.00/4.00	-	0.20	0.00	0.20	0.00	0.33	0.00	0.00	0.67	0.25	1.39
感染性胃腸炎	20.00/12.00	-	9.40	8.00	8.00	8.60	2.67	4.67	2.67	6.00	7.63	4.59
水痘	2.00/1.00	1.00	0.20	0.80	0.00	0.40	0.33	0.33	0.00	0.00	0.25	0.06
手足口病	5.00/2.00	-	0.80	0.40	1.80	1.40	0.33	0.33	1.00	0.00	0.88	1.17
伝染性紅斑	2.00/1.00	-	0.00	0.20	0.00	0.40	0.00	0.00	0.33	0.00	0.25	1.19
突発性発疹	-	-	1.20	0.60	0.60	0.60	0.33	0.33	0.00	0.33	0.50	0.41
ヘルパンギーナ	6.00/2.00	-	2.40	2.80	3.80	2.80	0.33	0.33	0.67	0.33	1.88	1.94
流行性耳下腺炎	6.00/2.00	3.00	0.20	0.00	0.40	0.40	0.67	0.00	0.00	0.33	0.38	0.15
急性出血性結膜熱	1.00/0.10	-	0.00	0.00	0.00	0.00						-
流行性角結膜炎	8.00/4.00	-	3.00	0.00	2.00	0.00						2.86
細菌性髄膜炎	-	-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-
無菌性髄膜炎	-	-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-
クラミジア肺炎	-	-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)	-	-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-
インフルエンザ入院患者(人)	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	-	

警報基準値以上 注意報基準値以上

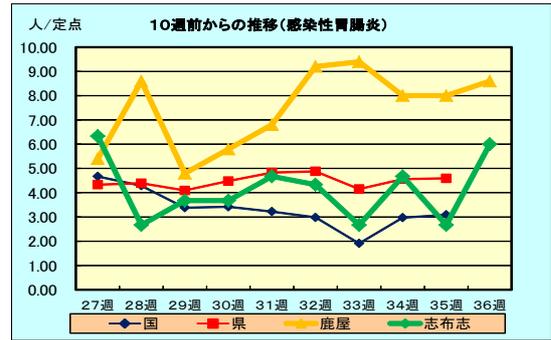
○感染性胃腸炎について

【 警報開始基準値 20.0, 警報終息基準値 12.0 】

感染性胃腸炎の発生状況は、
鹿屋保健所管内からは43名（定点当たり報告 8.60）の報告がありました。

志布志保健所管内からは18名（定点当たり報告 6.00）の報告がありました。

年齢別では、4歳が最多でした。



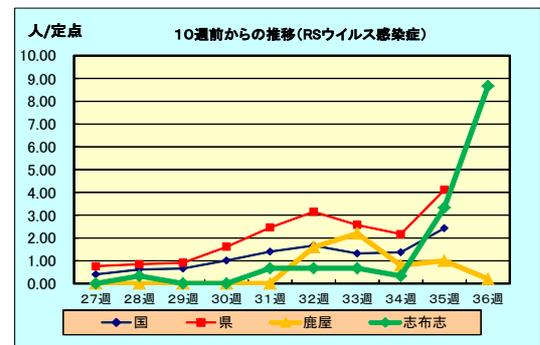
※第36週は鹿屋・志布志のみ掲載

○RSウイルス感染症について

RSウイルス感染症の発生状況は、
鹿屋保健所管内からは1名（定点当たり報告 0.20）の報告がありました。

志布志保健所管内からは26名（定点当たり報告 8.67）の報告がありました。

年齢別では、1歳が最多でした。



※第36週は鹿屋・志布志のみ掲載

RSウイルス感染症が増えています！

志布志保健所管内のRSウイルス感染症が先週に比べて大きく増加し、国や県全体でも増加傾向です。

例年秋から冬にかけて流行するため、今後の動向に注意が必要です。

【RSウイルス感染症とは】

RSウイルスの感染による呼吸器の感染症です。

RSウイルスの多くは生後1歳までに感染し、2歳になるまでにほぼすべての幼児が一度は感染しますが、一度の感染では十分な免疫ができず、何度も感染を繰り返します。

0歳児や1歳児が初めて感染したときに重症化しやすいのですが、再感染や再々感染時には症状は軽く済むようになります。

【症状】

上気道（鼻やのどなどの症状）が数日続く
発熱，鼻水，咳，のどの痛みなど

重症化すると・・・

下気道（気管支，肺など）の症状が現れる
喘鳴，咳込み，哺乳力・量の低下，無呼吸発作 など

【予防方法】

- ・流行時は乳幼児を人混みに連れていかない
- ・周囲の人は児に接する際に、手洗い，うがいを励行する
- ・周囲の消毒（アルコール消毒）を徹底する



など